

深伊沢地区地域計画



2020～2023

深伊沢地域づくり協議会

目次

1	地域づくりの想い	1
2	地域づくりの基本方針	2
3	地域づくり5本の柱	2
4	地域づくり推進組織	3
5	深伊沢地区の姿	4
	(1)地域の現況	4
	(2)地域の主な資源	5
	(3)住民の意識	6
	(4)地域の主な事業	7
	(5)地域の宝物と課題	8
6	深伊沢が目指す地域づくり	10
	(1)各部の目標	10
	(2)分野別課題と当面の目標及び担当部	12
7	地域計画の策定経過	15

地域づくりの想い

「地域づくりって、具体的にどのようなことをすればよいのだろう」

4年前の8月、深伊沢地域づくりはこの言葉から始まりました。

名前は知っていましたが、実際に計画し実行するためのノウハウは、ほとんど持っていませんでした。

でも、地域の皆さんから素晴らしいヒントやアイデアをいただきました。それはアンケートでした。

80%以上の住民の方が「この地に住んで良かった」「自然環境が良い」「人情や絆がある」など、深伊沢に深い思いと愛情を寄せていることでした。同時に地区に広がっている肥沃な黒ぼく、その大地に作られる米、茶、さつき、新鮮野菜に自信と誇りを持っていること、例年行われている地区体育祭や文化祭に多くの住民が参加していることなど、この地を愛し土地や行事に関心を持ち、互いに高め合っていこうとする意識を持っていることでした。

しかし、「高齢者にとっては交通事情が悪く住みにくい」「住民が生活していくにはとても不便」「後継者不足からくる耕作放棄地の拡大」など、深刻な問題や不安を抱えているのも事実でした。

できるなら、この気持ちを地域づくりに反映させたい。地域の特性を生かし、地域の皆さんが一体感を持ちつつ継続的に活動し、将来を担う子どもたちも喜び進んで取り組むことができるもの・・・

この思いから遊休地を利用し「深溝水土里を守る会」と協働で始めたのがコメ作りでした。

初めての田植えには、子どもたちの声ははじけました。見守る親や祖父母たちの目には、微笑ましいものがありました。

この笑顔が、この喜びが、この集まりが地域づくりを進めていこうとするエネルギーに変わり、安心安全ミニマップ、健康づくりニンニク栽培、みかん畑、プランター花作り、コスモス巡りウォーキングへと活動の輪が広がっていきました。

今、一つ一つの小さな思いが少しずつ花開いていくように思います。

深伊沢の地域づくりはこれからです。素晴らしい深伊沢、いつまでも住み続けたい深伊沢。そのことを目指すために互いに助け合い、励ましあい、支えあいながら温かみのある地域づくりを目指して行きたいと思います。

深伊沢地域づくり協議会

会長 名村 一宏

基本方針

いつまでも住み続けたい
このまち深伊沢

地域づくり 5本の柱

◇心豊かで住みやすい 深伊沢

◇自然の恵みを大切にする 深伊沢

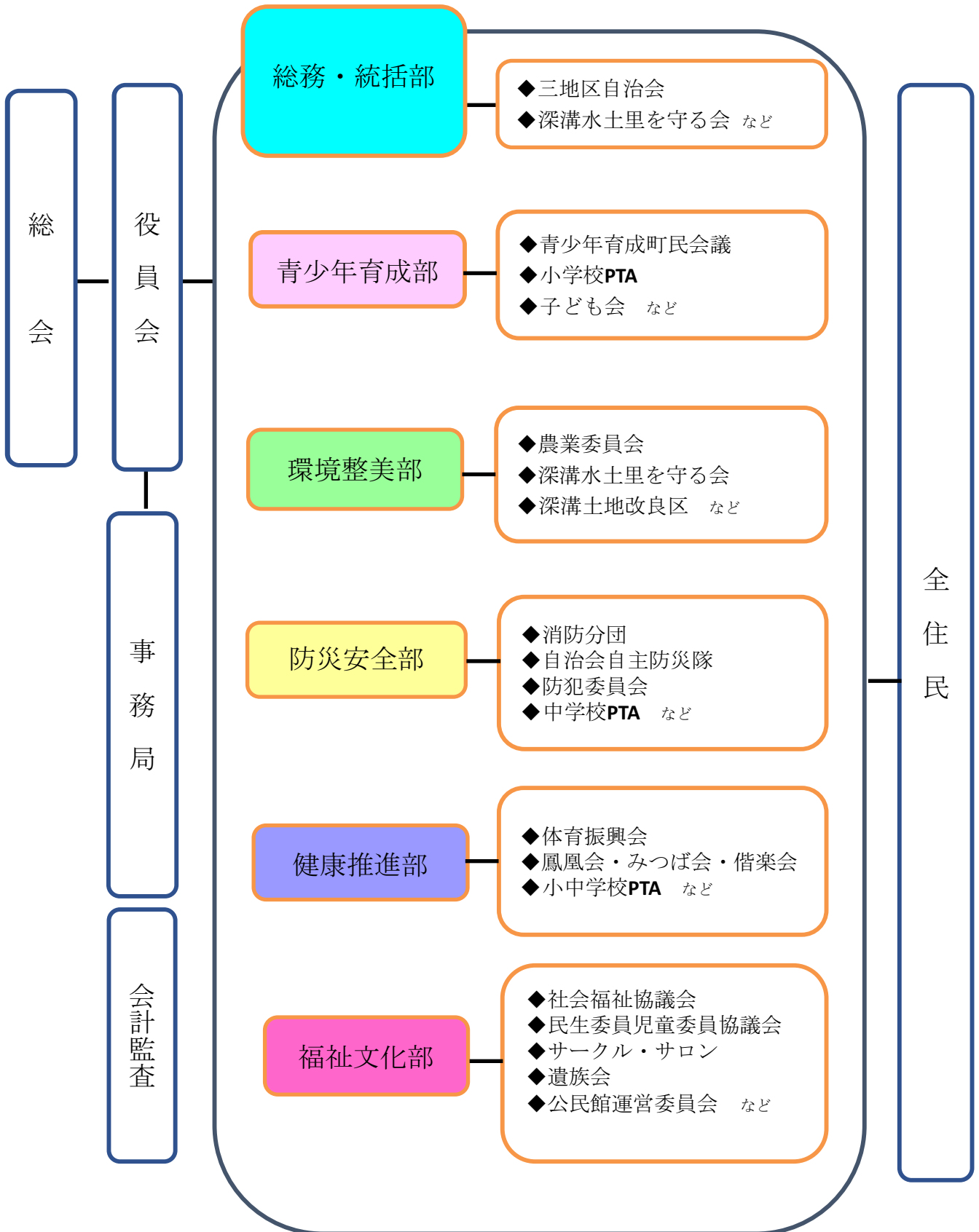
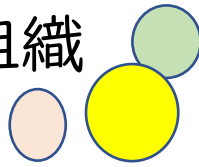
◇知恵と力を出し合い向上する 深伊沢

◇住んでいることに喜びや幸せを感じる 深伊沢

◇このまちの主人公は私たち と言える 深伊沢



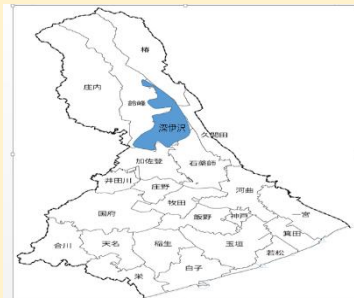
地域づくり推進組織



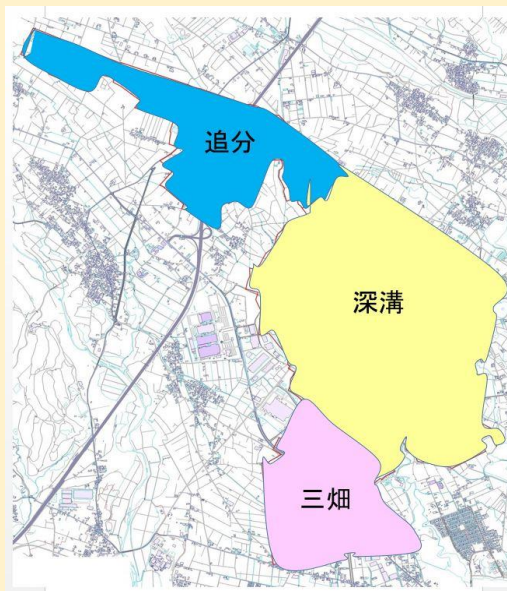
深伊沢地区の姿

(1) 地域の現況

(鈴鹿市全体から見た位置と地勢)



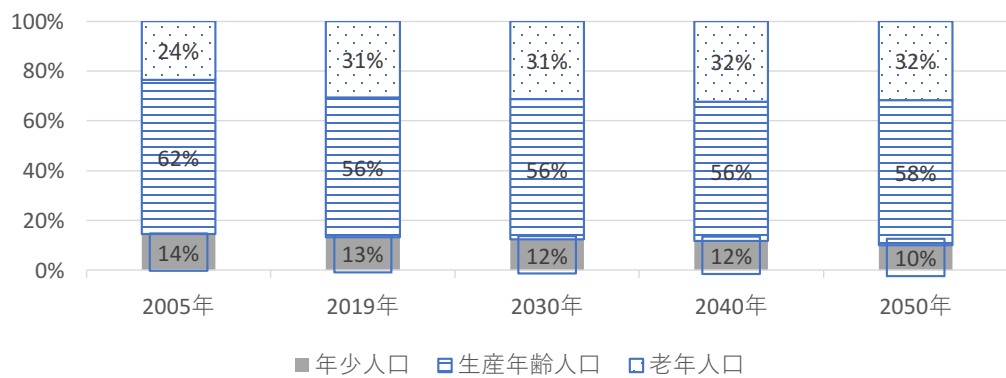
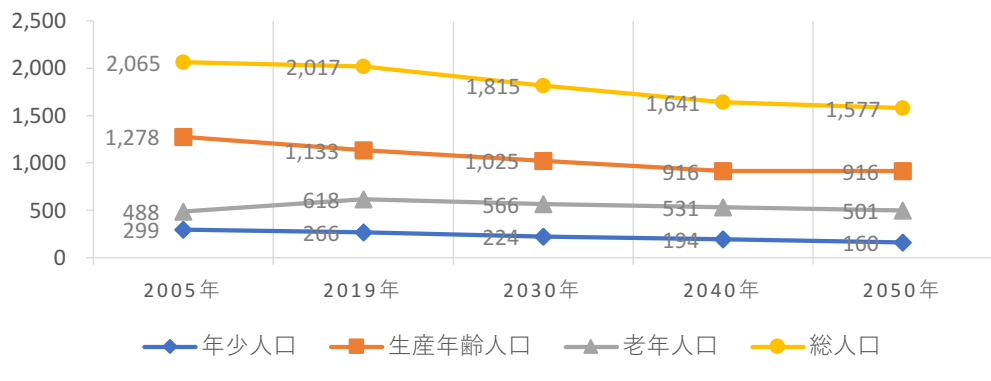
(地区内の地図)



◇世帯数 (2020年12月)
794世帯

◇人口 2,017人

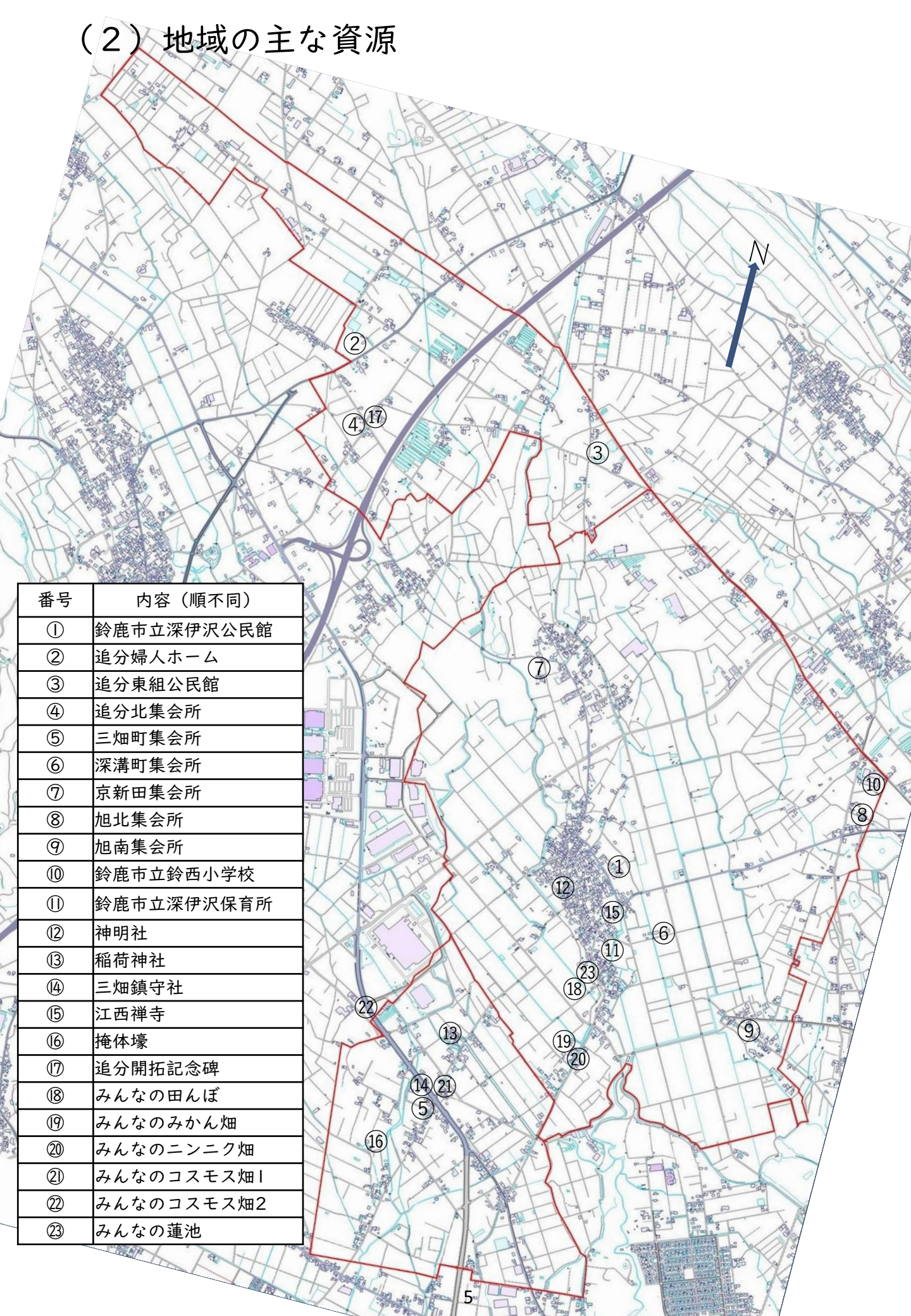
人口推移



※2019年までは鈴鹿市「地域・年齢別人口」結果による

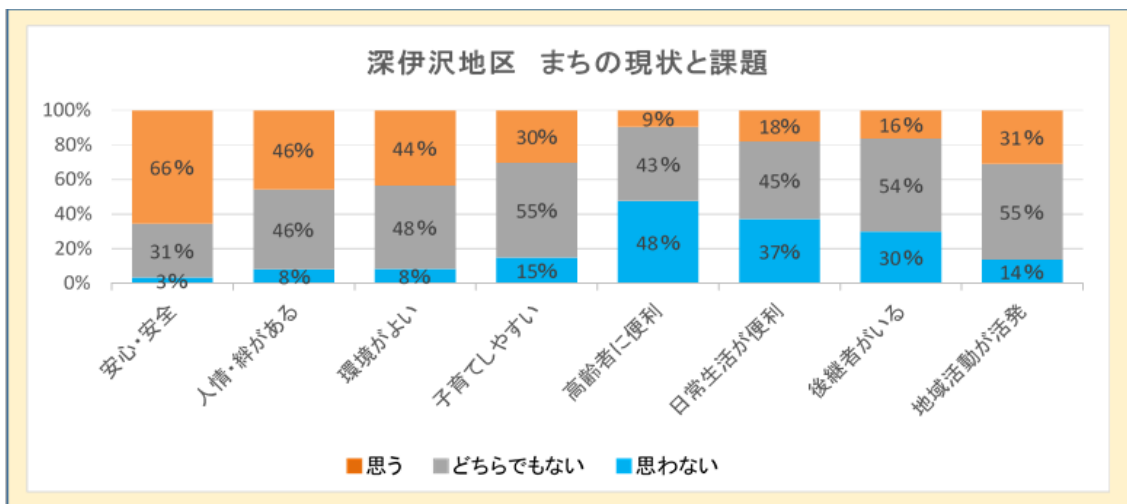
※2030年からは全国小地域別人口推計システムURL <http://arcg./1LqC6qN>(製作者 青山学院大学 井上孝 氏)

(2) 地域の主な資源



番号	内容 (順不同)
①	鈴鹿市立深伊沢公民館
②	追分婦人ホーム
③	追分東組公民館
④	追分北集会所
⑤	三畑町集会所
⑥	深溝町集会所
⑦	京新田集会所
⑧	旭北集会所
⑨	旭南集会所
⑩	鈴鹿市立鈴西小学校
⑪	鈴鹿市立深伊沢保育所
⑫	神明社
⑬	稻荷神社
⑭	三畑鎮守社
⑮	江西禅寺
⑯	掩体壕
⑰	追分開拓記念碑
⑱	みんなの田んぼ
⑲	みんなのみかん畑
⑳	みんなのニンニク畑
㉑	みんなのコスモス畑1
㉒	みんなのコスモス畑2
㉓	みんなの蓮池

(3) 住民の意識 (アンケート結果, ワークショップから抜粋)



深伊沢地域づくり協議会では、当地区内の世帯を対象に、「深伊沢地区地域づくりを考えるアンケート調査」(平成29年1月)を実施しました(回答率は67%)。

まちの現状については、「安心・安全に暮らせるまち」と回答をした世帯が最も多く、次いで「人情や気風が良く絆があるまち」「自然豊かな環境が保たれるまち」となっています。居住についても、「住民間の関係や地域の治安が良い」「自然環境・生活環境がよい」「自然災害が少ない」など、この地に満足度の高い意見が多く出ています。

しかし、「お年寄りには住みにくいまち」「日常生活を送るのには不便なまち」など現実に横たわっている不安や問題も多く出ています。これは、日常生活について、「交通事情の利便性が悪く、特に高齢者にとっては辛いまち」「病院や大型店舗が近くにない」「地域産業・継承等不足」という現状が反映されたものと思われます。少子高齢化や人口減少等が懸念される中、これらの傾向が一層顕著となり、今後の大きな課題となりそうです。

地区イベントの現状について、地区体育振興会や公民館運営委員会などが中心となり多種多様なイベントを行っていますが、「地域活動は多くあるものの、全般的に参加人数が少ない」という趣旨の意見がありました。

地域活動やスポーツ振興は、まちに活気をもたらします。また高齢者と子どもとの交流が多くなることで子育てしやすい環境も育まれます。このことから、イベントへの参加増員のための工夫や取組み(イベントのコラボレーション等)が今以上に求められると考えられます。

(4) 地域の主な事業

月別事業

4月	米作り体験活動「田植え」
5月	春のグラウンドゴルフ大会
6月	ソフトバレーボール大会 公民館庭木剪定
7月	ソフトボール大会
8月	米作り体験活動「稲刈り」 防災訓練 夏休み子ども体験教室 (工作等)
9月	
10月	深伊沢地区体育祭 秋のグラウンドゴルフ大会
11月	ウォーキング大会 公民館庭木剪定
12月	米作り体験活動「餅つき大会」
1月	
2月	深伊沢地区文化祭
3月	

通年事業

給食サービス

あいさつ運動

安心安全パトロール

出前保育

サークル活動

介護予防や料理などの講座

サロン活動

コスモス、ひまわり、芝桜
など 景観植物の植栽

ニンニク、ミカンなど
農作物の栽培と収穫

各地区子ども会活動



(5) 地域の宝物と課題

地域の宝物

宝物NO1

豊かな自然と土地

- ・自然環境がよい。
(季節感, 静か, 自然多い, 穏やか)
- ・肥沃な黒ぼくが広がっている。
- ・夜空の星がみえやすい。
- ・安心して散歩ができる。

宝物NO2

人と人のつながり

- ・高齢者から子どもまでのつながりがある。
- ・人間関係がよい。
(親切, 思いやり, 交流, 助け合い)
- ・子育てができる環境にある。
- ・三世帯同居が多い。
- ・高齢者が元気。
- ・地区活動に協力的な人が多い。
- ・住民運動会が長く続いている。
- ・近所付き合いがあり, 地域内の絆が強い。

宝物NO3

風水害に強い地形

- ・自然災害が少ない, 心配ない。
- ・山崩れ, 河川氾濫の心配がない。
- ・津波の心配がない。

宝物NO4

特産物

- ・農作物が豊か。
- ・サツキ栽培。お茶栽培。
- ・様々な植木の栽培。

宝物NO5

文化的遺産

- ・県指定掩体壕(三畑町)。
- ・マンボ, 農業用水, ため池などがある。
- ・深溝・三畑・追分の郷土史が出来ている。
- ・地域の行事を大切にしている。

地域の課題

課題NO1

交通手段が不便

- ・公共交通機関，バス運行など，交通事情が悪い。
- ・自家用車がないと生活できない。
- ・歩道が少ない。通学路が確保されていない。
- ・免許証返納は難しい。

課題NO2

交流場所が少ない

- ・小中学校区が異なるため隔たりがある。
(子どもたちの交流がない)
- ・サロン等の交流会をもっと活発に。
- ・3町自治会間の連携が薄い。

課題NO3

耕作放棄地問題

- ・農業の担い手がいない。
- ・調整区域の制約がある。
- ・若い世代が活躍できる場が少ない。
- ・自給率が減少している。
- ・遊休地が増えている。

課題NO4

公園・病院・店舗・
図書館などの施設数

- ・大きな病院が近くにない。
- ・車移動，買い物，通院など高齢者には辛い所。

課題NO5

防災・防犯に対する
意識の低さ

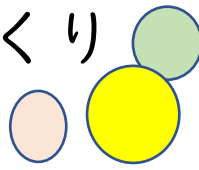
- ・防災の危機感がない。
- ・地域ぐるみの安心感があり防犯意識が少ない。
- ・空き家対策が必要である。

課題NO6

システム構築・
情報発信不足

- ・行事（出合い）が多い。
- ・メンバー中心の活動が多い。
- ・自治体等関係団体役員の担い手がいない。
- ・3町自治会間の連携が薄い。
- ・行事への参加が少ない。（特に中年層）
- ・各種スポーツ大会への参加者集めが大変。
- ・広報発信が少ない。
- ・トップダウンが多く，ボトムアップが少ない。

深伊沢が目指す地域づくり



(1) 各部の目標

総務統括部

- ・ 地域住民の思いや願いを大切にし，解決を図る地域づくりの推進
- ・ 地域住民の命と暮らしを守る施策の提起と実現への努力
- ・ 地域づくりの方針，目標，諸活動等がリアルタイムに分かる情報・宣伝活動
- ・ 関係機関とタイアップしながら目標達成をめざす施策の提起

青少年育成部

- ・ 地域住民が一体となった，心身共に健やかな子どもの育成
- ・ 青少年が夢と希望，挑戦が持てる事業の開発と推進
- ・ 自分が大切にされていると思われる地域社会の創造
- ・ 地域の特性に誇りを持ち，将来を見据えた青少年の育成

環境整美部

- ・ 農地・水・農道・林など地域の資源を大切にし，その有効的な活用
- ・ 遊休農地を最大限利用する効果的な活用と実施
- ・ 継続的な活動を通し，次へのステップとなる特性ある地域事業
- ・ 誰もが生き生きと自立に目覚める自然環境の確立

防災安全部

- ・ 安心・安全に暮らせるまち推進の具体的対策
- ・ 子ども・高齢者・障がい者・女性等弱者にやさしいまち
- ・ 自然災害に対する意識の高揚と日常活動
- ・ 向こう三軒両隣が実感できる心豊かなまち

健康推進部

- ・ 地域の良さが住民の五感で確かめられる事業の開発と実施
- ・ 住んで良かったと言える信頼と愛情のあるまち
- ・ 医療機関とネットワークができる体制の確立と具体的実施
- ・ 将来に夢と希望と微笑みがある人間的環境の素地づくり

福祉文化部

- ・ 社会的・文化的・教育的活動の啓蒙と公民館の積極的活用
- ・ 誰もが参加できる趣味・サークル・クラブ等生涯学習活動の推進
- ・ 弱者が一番大切にされる地域社会の育成
- ・ 住民相互が心豊かに暮らせるまち



策定委員会の様子

（２）分野別課題と当面の目標及び担当部

【課題】地域の絆を深める

当面の目標

三地区がつながるシステムを構築し、地域間のつながりを深めることを目指します。

事業の実施に向けて、内容や協力者について検討します。

三地区の特性を活かし、他の事業と連携しながら、世代を超えて交流できる事業へと発展させていきます。

三地区めぐりウォーキング大会を検討し、実施を目指します。

総務統括部

健康推進部

【課題】人の行き来で安全なまちを目指す

当面の目標

地域全体で子どもを見守るために、「犬の散歩をしながら」「農作業をしながら」など、『〇〇しながら』子どもたちを見守っていく「ながらパトロール」を推奨し、その輪を広げていきます。

青少年育成部

福祉文化部

【課題】地域づくりへの関心を持つ

当面の目標

子どもたちが地域に愛着を持てるような活動に取り組みます。

「クリーンシティ深伊沢」や「夏休み宿題教室」などを検討していきます。

青少年育成部

環境整美部

福祉文化部

【課題】 深伊沢に愛着を持つ

当面の目標

コスモスやひまわりなど景観植物の遊休地への植栽，特産物サツキを利用したモニュメント，河川や道路，田畑の法面への芝桜植栽などの事業を検討し実施を目指します。

花いっぱい活動を通して，子どもからお年寄りまで地域住民が深伊沢に愛着を感じるまちを目指します。

環境整美部



田植えは「子ども会」「サロン」「水土里を守る会」など各種団体が集合

【課題】 住民の防災・防犯に対する意識の向上

当面の目標

「ホッとする安全ミニマップ」を活用しながら，地域の現状を把握し，地域住民の防災・防犯の意識向上を目指します。

災害が起こった時を想定した防災訓練や避難所運営訓練等を行い，地域住民の防災意識の向上を図ります。

防災安全部

【課題】 地域行事への参加者アップ

当面の目標

農産物の深伊沢ブランドを確立していきます。

取り組み始めた黒にんにくを深伊沢ブランドとして確立するため、年々改良を重ねるとともに、それを利用した料理教室なども検討します。

また、新しいフルーツなどの農産物にもチャレンジしていけるように検討します。

健康推進部

青少年育成部

福祉文化部

【課題】 交流の場を増やし、参加意欲の向上

当面の目標

地区体育祭や、文化祭、趣味、サークル活動等を通して地域住民が気楽に集まり、誰でも楽しめる文化及びスポーツ活動を進めます。

将来的には、他の事業と連携して地域の絆を深めます。

健康推進部

青少年育成部

福祉文化部

【課題】 高齢者の買い物に対する不便の解消

当面の目標

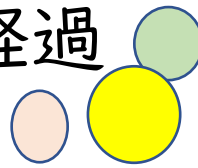
高齢者に対し、買い物に行く便利なくみを検討します。

買い物の手段・方法・しくみ等について施設の方や入居者から意見を聞いたり、見学したりして支援の方法を検討します。

将来的には、高齢者の買い物支援体制の確立を目指します。

福祉文化部

地域計画の策定経過



平成29年1月

「深伊沢地区 地域づくりを考えるアンケート」実施
深伊沢地域づくり設立準備委員会役員会

平成29年6月

深伊沢地域づくりたより発行（アンケート結果掲載）
深伊沢地域づくり設立準備委員会役員会

平成30年7月

深伊沢地域づくり協議会発足

令和元年7月

第1回地域計画策定ワークショップ実施（地域が目指す将来像設定）
深伊沢地域づくり協議会地域計画策定委員会

令和元年8月

第2回地域計画策定ワークショップ実施（地域課題等の優先順位付け）
深伊沢地域づくり協議会地域計画策定委員会

令和元年9月

第3回地域計画策定ワークショップ実施（地域課題等の解決策検討）
深伊沢地域づくり協議会地域計画策定委員会

令和元年10月

第4回地域計画策定ワークショップ実施（令和5年度まで（4年間）の取組み検討）
深伊沢地域づくり協議会地域計画策定委員会

令和元年11月

深伊沢地区地域計画案協議（ワークショップの意見集約・検討）
深伊沢地域づくり協議会役員会

令和2年1月・2月

深伊沢地区地域計画案協議（地域計画概要検討）
深伊沢地域づくり協議会役員会

令和2年3月

深伊沢地区地域計画案承認及び地区住民周知
深伊沢地域づくり協議会役員会



【地区旗】意味

意匠〔茶の樹に茶壺〕

緑茶の生産地として名の高い深伊沢は、茶の樹に茶壺を配して、茶業の振興の意を託した。

地色は「きみどり」。抹茶の色に似せて、しぶみのあるきみどりを選んだ。

深伊沢地域づくり協議会

〒519-0321 三重県鈴鹿市深溝町1560-1
深伊沢地域づくり協議会事務局
(鈴鹿市立深伊沢公民館内)